

令和5年度 学校評価書 (計画段階・実施段階)

64

福岡県立 明善 高等学校 (定時制)

自己評価
学校運営計画 (4月)
学校運営方針
昨年度の成果と課題
令和4年度も積極的な家庭訪問、面談を行うとともに、教員間での情報交換を密に行った結果、全教職員が、生徒に対し協働で個に応じたきめ細やかな対応ができた。その成果から、大きな問題行動等もなかった。併せて、登校時の検温、給食時の手指消毒、換気等の感染症対策を十分に行いながら、教育活動を進めることができた。令和5年度は、観点別評価の本格導入、及びその内容の不断の見直しを通じて、指導と評価の一体化を進めていく。また、これまでのきめ細やかな指導は継続しつつ、言語活動を含め特別な配慮を必要とする生徒への個別指導及び手立ても充実させる。

学校関係者評価
自己評価は
A: 適切である
B: 概ね適切である
C: やや適切である
D: 不適切である
項目ごとの評価
学校関係者評価委員会からの意見
A
○明善定時制があることのありがたさが、もっと市民に伝われば良いと思う。とても大事な教育の場である。○本校卒業生も同様、心のケア、家庭支援が必要な生徒に対し、ケース会議が開かれていることに感謝する。
A
○幅広い背景を抱えた生徒に合わせ、わかりやすい授業を行うことは、とても大変と思う。○様々な工夫を凝らし、生徒たちの学びのニーズへの対応をお願いしたい。
A
○生徒1人1人に応じたきめ細かな対応が必要で苦勞も多いと思うが、引き続き先生方の連携プレーをお願いしたい。
A
○苦勞して手に入れた高校生活であるため、可能な限り自分なりに望む進路を実現して欲しい。
A
○生活の基本は食であり食育の取り組みは重要であるため、引き続き対応をお願いしたい。
A
○様々な背景を抱える生徒に対応するためには、SC、SSW等の専門的視野が必要不可欠であるため、引き続き研修の充実と関係機関との連携をお願いしたい。
A
○物価高騰の折、予算の計画的執行は苦勞が多いと思う。

自己評価及び学校関係者評価を踏まえた今後の改善策
○多様な特性を有する生徒に対し効果的な支援を実施するため、専門的な知見や情報を持つSC、SSW、行政、医療機関、中学校等との連携をさらに促進し、日々の教育活動において具体的な手立てを実施する。

評価項目以外のものに関する意見